

令和7年(2025)12月26日 No.9  
**教育長だより**

生駒市教育委員会事務局  
 生駒市東新町8番38号  
 0743-74-1111(代)  
 文責 原井葉子

## 「子どもが主役」の学びへ

市内小学校、中学校では、第3次教育大綱が目指す「自分で選び、自分に合った方法で、自分のペースで学ぶ」授業づくりに取り組み、多くの先生が各学校の校内研修や市教委が主催する伴走・越境型研修で学び合いながら授業改善に挑戦しています。

「正解」を教わる受動的な学びから、自ら問いを立て試行錯誤する主体的な学びへ。子どもたちがもつ「自ら伸びようとする力」を信じ、一人ひとりの個性が輝く授業を先生方と共に創り上げたいと考えています。失敗を恐れず、自分らしく学ぶ喜びを知った子どもたちは、きっと自らの手で未来を切り拓いていけるはずです。一歩踏み出す先生方の挑戦が、子どもたちの自己肯定感と主体性を育む大きな原動力になることを信じています。



「生駒市教育委員会公式note」では、各学校の取組の一端を紹介しています。子どもたちの活動や先生の研修の様子など、知つていただけたら幸いです。

☆「このメンバーで、どんな答えを生み出せるだろう」  
 ~俵口小6年生の、ひらかれた1時間~  
<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n3f375a9f87f8>

☆「問い合わせ」が、教室を動かす。~生駒南中、「地理」の学習の現在地~

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n1956ff92a405>

☆「わからない」と言える、安心感。~桜ヶ丘小3年生、自分なりの答えに出会う時間~

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/nc01e47e40390>

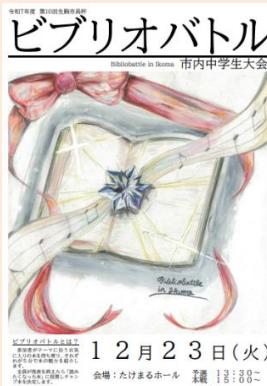
☆「うまくいかない」も、大切な学びの過程。~子どもも大人も試行錯誤する、生駒南小4年生の挑戦~

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n45a6c2657a08>

## 「ビブリオバトル市内中学生大会」を開催

12月23日に、「第10回市長杯ビブリオバトル市内中学生大会」を開催。各校から選出されたバトラー23人が予選、本選で熱い戦いを繰り広げ、チャンプ本は、上中学校2年生 大宮直さんの「自分とか、ないから。教養としての東洋哲学」に決定しました。どのバトラーも、おすすめの本を手に、身振り手振りや声に強弱をつけて熱く本との出会いや自分の思いを伝える姿が印象的でした。また、ポスターコンクールでは、鹿ノ台中学校1年生 佐々木彩夏さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

生駒市では、全ての市立小、中学校に専任の学校司書を配置し、今回のビブリオバトル大会も、学校司書が中心に運営しています。子どもたちが読書好きになって本を手にする機会がさらに増えるよう、これからも学校の読書活動を進めていきたいと考えています。



## 生駒南小・中学校の新たな学校づくり

「共創スタジオだよりVOL. 3」を発行しました。

☞ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000039391.html>

先月、南小、南中の保護者を対象に開催したワークショップの内容です。ご一読ください。

その後、11/13に市内教職員、11/24に地域の皆様、11/28に南小・中の教職員を対象に共創スタジオを実施し、12/14には南小体育館で最終全体会を開催しました。熊本大学苦野一徳准教授のこれからのおもてなしをテーマにした講演のあと、拡大した設計図の上を歩いたり、実物大の教室を体験したりして、多くの参加者に学校づくりについて知つていただく機会となりました。

年度内基本設計完成を目指して進めてまいります。

